



## 5月13日から脳神経外科外来に新たに専門外来を開設しております。

近年医療の世界でも診療科の専門性、またその診療科内での専門性が進んでおります。脳神経外科の中でも従来の開頭術で行う治療はもちろんのこと、血管の中からカテーテルを使って治療する脳血管治療、神経内視鏡を使った低侵襲な治療、重度なパーキンソン病やてんかんに対する外科治療など多くの専門性があります。

今回、脳腫瘍の中でも下垂体腫瘍、脳血管内治療に関する専門外来を開設する事になりましたので、それぞれご紹介させていただきます。



## 脳血管内治療専門外来（毎週水曜日・午後）



寺本 佳史 医師

脳血管内治療の利点は“切らずに治療ができる”低侵襲な治療ということです。治療は局所麻酔で、足の付け根（鼠径部）や肘の2～3mmの傷で行う事ができます。治療の対象となる病気は脳動脈瘤、頸部内頸動脈狭窄症、頭蓋内脳血管狭窄、硬膜動静脈瘻、急性期脳梗塞の再開通療法などがあります。その他脳腫瘍や脳動静脈奇形の手術を安全かつ容易にするために、関連のある血管を術前に詰める事も行います。この治療は普及し始めてまだ日が浅いですが、新しい器具が次々と使えるようになり日々進歩し続けています。

例えば脳動脈瘤治療ではコイルを詰めやすくするためのステントや塞栓率を向上させるためのバイオアクティブコイル、頭蓋内狭窄に対するステント、急性期脳梗塞でも血栓回収ステントなどが認可されています。このため豊富な治療経験を持つ専門医に気軽に相談できる場として専門外来を開設致しましたので、お気軽にご相談下さい。



## 下垂体腫瘍専門外来（毎週火曜日・午後）



湯上 春樹 医師

これまで友愛会病院では脳血管障害に対する急性期治療を行う地域中核病院として発展して来ましたが、更に脳神経外科領域に特化した病院へ進化する方針を掲げ、脳腫瘍専門外来を始めることになりました。脳腫瘍は、脳そのものから発生する腫瘍だけではなく、頭蓋骨の中に発生する腫瘍の全てを含みます。大きく分けると、悪性脳腫瘍（神経膠腫や転移性脳腫瘍など）と良性脳腫瘍（髄膜腫や下垂体腺腫など）の2つに大別されます。下垂体腫瘍外

来では、下垂体（様々なホルモンを分泌する器官）に発生する下垂体腺腫に対する診療を行っています。下垂腺腫はホルモン産生性する機能性腺腫と腫瘍と、ホルモンは産生しない非機能性腫瘍に分けられます。同じ下垂体腺腫であっても、機能性の有無、腫瘍の大きさ及び患者さんの症状によって、それぞれ治療方針が変わってきます。例えば非機能性で腫瘍が小さく無症状であれば、手術行わずに定期的検査を行いながら、経過観察することになります。また機能性腫瘍の代表であるプロラクチン産生下垂体腺腫では、大部分の患者さんで薬物療法のみ行っています。手術が必要となった場合でも、当院では経鼻的に内視鏡単独による手術を行っています。創部痛もほとんどなく、術後の鼻閉などが軽減され、患者さんへの負担が大幅に緩和されています。専門外来となっていますが、脳腫瘍全般に対応させていただきます。気軽に御相談頂ければ幸いです。





# 熱中症の予防と対策

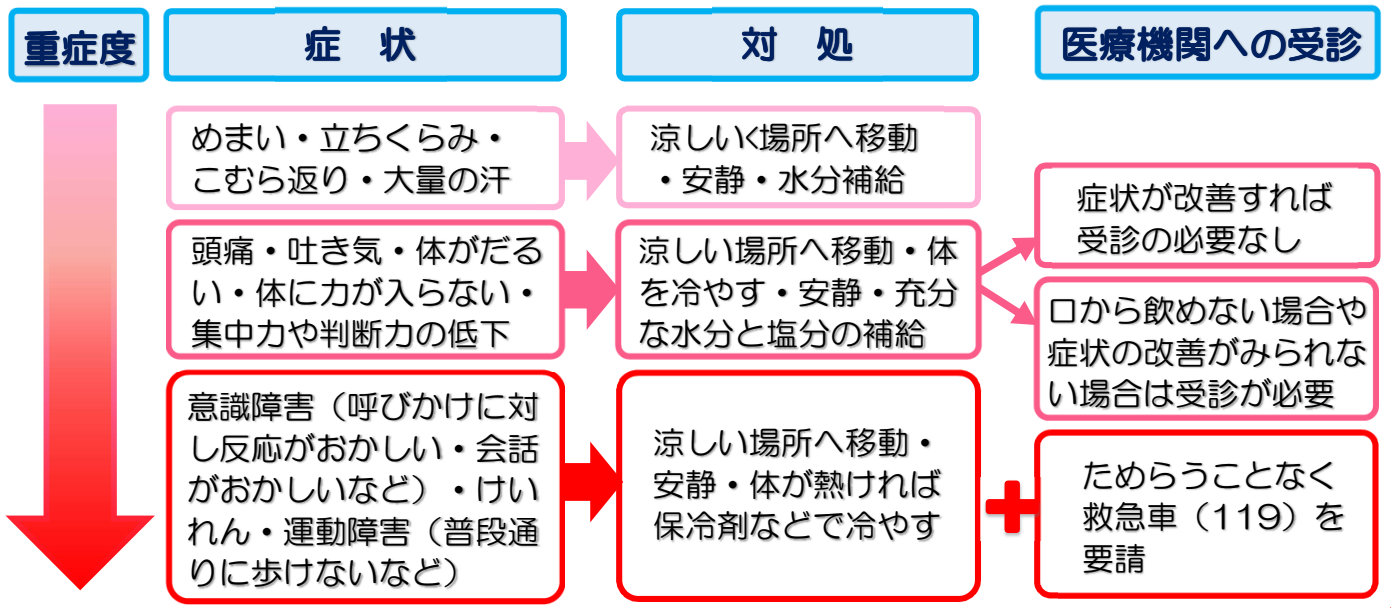


## 熱中症とは？

室温や気温が高い中で、体内の水分や塩分(ナトリウム)などのバランスが崩れ、体温調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、体のだるさ、ひどいときには、けいれんや意識の異常など、様々な障害を起こす症状のことです。

家の中でじっとしていても、室温や湿度が高いために、体から熱が逃げにくく熱中症になる場合がありますので、注意が必要です。

## 熱中症の分類と対処方法



## 熱中症予防のポイント

- ☀ 部屋の温度をこまめにチェック！  
(普段過ごす部屋には温度計を置くことをお勧めします)
- ☀ 室温28℃を超えないように、エアコンや扇風機を上手に使いましょう！
- ☀ のどが渴いたと感じたら必ず水分補給！
- ☀ のどが渴かなくてもこまめに水分補給！
- ☀ 外出の際は体をしめつけない涼しい服装で、日よけ対策も！
- ☀ 無理せず適度に休憩を！
- ☀ 日頃から栄養バランスの良い食事と体力づくりを！



編集  
後記

梅雨時期は湿度も体温も上昇します。冷房など気温の変化により体調をくずしがちです。睡眠、食事、水分、適度な運動で暑い夏を乗り越えましょう！

友愛会病院 広報委員会

○友愛会病院のホームページも是非、ご覧ください。http://www.sanwakai.jp/